

○第2回桑名市子ども・子育て会議における提案等を踏まえた 子ども・子育て支援に関するニーズ調査票の修正か所等

(就学前の子どもの保護者用)

設問番号等	提案内容	修正等の対応
全体	複数回答可の設問について、選択肢が多い場合は「(○はいくつでも)」ではなく選択数を限定すべき。 (第3グループ)	■現在のニーズを的確に把握するために回答数を限定すべきと思われる設問については、ご提案のとおり修正します。(Q22~24、Q45、Q51・52、Q54)
全体	数値を記入する「□□」の枠は記入者が必ず2枠埋める必要があると思ってしまうので、「□」等にすべき。 (第2グループ)	■ご提案のとおり修正します。
全体	「Q〇へ」を目立つ文字に変更すべき。(委員長)	■ご提案のとおり修正します。
全体	Q1、Q7などの選択肢の並びは、見やすいように、横から順に並べるべき。(副委員長)	■ご提案のとおり修正します。
全体	調査票の設問は、基本的にはすべての方を対象とするため、いくつかの設問にある「すべての方にお聞きします。」は削るべき。(Q38については、前問との関係から必要。) (委員長、副委員長)	■ご提案のとおり修正します。
ご協力をお願い	平易で簡潔な文章にすべき。 (委員長)	■ご提案のとおり修正します。
桑名市の子ども・子育て支援について	「ご協力をお願い」と重複しないよう表題を「桑名市の子ども・子育て支援のこれまでとこれから」と変更し、「つきましては、～」を削除 (委員長)	■ご提案のとおり修正します。
ご記入にあたってのお願い	添付文書の説明を付加し、関連のある設問には案内文書を参照する旨を追記。 (事務局)	■添付文書の説明を付加し、関連のある設問には案内文書を参照する旨を追記します。
Q7	選択肢にかかる続柄の説明を下線で強調すべき。 (委員長)	■ご提案のとおり修正します。

設問番号等	提案内容	修正等の対応
Q 8	下線を「主に」だけではなく「あて名～主にしている方」までに引くべき。 (委員長)	■ご提案のとおり修正します。
Q10、Q11 Q14 (旧Q13)、 Q15	〈国・必須〉と〈国・任意〉をわけて別の設問にする。 (第1・2グループ)	■ご提案のとおり修正します。
Eの注書*	文字を大きくすべき。 (委員長)	■ご提案のとおり修正します。
(旧Q17-3)	利用状況は、実績等で把握できるので削除すべき。 (第1・2グループ)	■ご提案のとおり削除します。
Q25-1 (旧Q23-1)	個別の支援センターの利用状況は、事業実績で把握できるので、「地域子育て支援センター」でまとめるべき。 (第1グループ) 子育て支援センターの市内の実施場所を添付文書に記し、類似事業については、具体的に例示すべき。 (委員長、副委員長)	■ご提案のとおり修正します。 ※用語を、「地域子育て支援センター」から「子育て支援センター」に統一しました。(以降の設問も同じ。) ■ご提案のとおり修正します。
Q26 (旧Q24)	市の子育て支援事業の周知度、利用経験、利用意向に関する設問のB欄は、事業実績で把握できるので不要。また、情報提供等に関するサービスについてはQ44以降のMで詳しく尋ねているので削除しても構わない。 (第2グループ) 回答欄の「はい」と「いいえ」の間隔を広くすべき。 (委員長)	□B欄については、利用者と未利用者の利用意向(C)を把握したいので、このまま残します。 ■情報提供・相談に関する事業の種類の新⑨～⑪、⑬は削除します。 ■あおぞら出前保育、子育てサロン等については、Q25-1で把握可能であるため、旧④・⑤・⑦・⑧は削除します。 ■ご提案のとおり修正します。
Q27 (旧Q25)	土・日、長期休暇中の教育・保育事業の利用希望だけでなく現状も把握すべきではないか。 (第1グループ)	□休日保育等の利用状況については、国の調査項目になく、利用実績から現状が把握できるので、このままとします。

設問番号等	提案内容	修正等の対応
Q29 (旧Q27)	複数回答にすべき。(第1グループ)	□過去の調査結果との比較ができなくなってしまうので、このままとします。ただし、設問に「 <u>まず</u> 、どうしましたか」と修正します。
Q31 (旧Q29)	「この1年間」では思い出せない場合があるので、「過去」とした方が良い。(第1グループ)	□国の必須項目なので、このままとさせていただきます。
Q37 (旧Q35)	「あて名のお子さんが5歳以上の方にお聞きします。」を強調するために、続く文章を改行すべき。(委員長)	■ご提案のとおり修正します。
Q39 (旧Q37)	母親の状況を聞いた設問なので選択肢5の「(夫)」は不要。(第1グループ) 選択肢が多いので経済的な理由、自己実現、労働などの視点でまとめ直す。(第2グループ) 【提示した修正案に対して】 選択肢3「職場や仕事の状況が働き続けられる環境だったから」は、継続した全ての人々が当てはまる必要条件であり、理由ではないと思う。判断は委員長に一任する。(津田委員)	■ご提案のとおり選択肢をまとめ直します。 ■ご提案のとおり選択肢をまとめ直します。 ■委員ご指摘の点を踏まえ、労働・職場環境の整備と就労継続との関係を計る選択肢として明確になるよう選択肢3を修正しました。
Q40 (旧Q38)	「感じる」ではなく「感じた」とすべき。(第1グループ)	■ご提案のとおり修正します。
Q43-1 (旧Q41-1)	月齢は思い出せないので、育児休業の取得期間とすべき。(第2グループ)	■ご提案のとおり修正します。
Q47 (旧Q45)	「充実させる」という表現では、具体的な内容がわからないので工夫が必要。(第1グループ)	□過去の調査結果との比較ができなくなってしまうので、このままとします。
Q48 (旧Q46)	「ほぼあてはまる」と「あまりあてはまらない」の違いが曖昧で、回答しづらい。直線的に「1-2-3-4」とならべて、その度合いを回答してもらう形式にした方が良い。(第2グループ)	■ご提案を参考に修正します。

設問番号等	提案内容	修正等の対応
Q49 (旧Q47)	<p>選択肢6「叱りすぎている」では現状を反映していない。「叱り方について不安がある」とすべき。 (第2グループ)</p>	<p>■ご提案のとおり修正します。</p>
Q50 (旧Q48)	<p>年齢だけではイメージしにくいので、年少、年中、年長など補足が必要。 (第1グループ)</p>	<p>■ご提案のとおり修正します。 ■選択肢7「6歳」に代えて、「特にない」に修正します。</p>
(旧Q53)	<p>「質的な充実」「量的な充実」などわかりにくい用語が多い。また、認定こども園の説明等が現時点では困難であるとともに、実現不可能な事項等が含まれるので、設問を削除すべき。 (第1・3グループ)</p>	<p>■ご提案のとおり削除します。</p>
<p>調査票の配布・回収、調査の周知</p>	<p>回収率を上げるための工夫が必要。私立と公立の間に回収率の差ができてしまうのは避けたい。 (第2グループ)</p>	<p>□就学前の子どもの保護者用の調査票は、対象者に郵送にて送付しますが、私立園を含め、幼稚園・保育園を通じて調査への協力依頼文書の配布・調査票の受理を行っていただけるよう関係機関と調整してまいります。</p> <p>□また、本調査の周知に関しては、桑名市広報、桑名市ホームページ、子育て情報メールマガジン、ケーブルテレビ等を通じて行うことを予定しております。</p>

(小学生の保護者用)

設問番号等	提案内容	修正等の対応
全体	複数回答可の設問について、選択肢が多い場合は「(○はいくつでも)」ではなく選択数を限定すべき。 (第3グループ)	■現在のニーズを的確に把握するために回答数を限定すべきと思われる設問については、ご提案のとおり修正します。(Q36、Q41・42、Q44)
全体	数値を記入する「□□」の枠は記入者が必ず2枠埋める必要があると思ってしまうので、「□」等にすべき。 (第2グループ)	■ご提案のとおり修正します。
全体	「Q〇へ」を目立つ文字に変更すべき。 (委員長)	■ご提案のとおり修正します。
全体	Q1、Q7などの選択肢の並びは、見やすいように、横から順に並べるべき。 (副委員長)	■ご提案のとおり修正します。
全体	調査票の設問は、基本的にはすべての方を対象とするため、いくつかの設問にある「すべての方にお聞きします。」は削るべき。 (副委員長)	■ご提案のとおり修正します。
ご協力をお願い	平易で簡潔な文章にすべき。 (委員長)	■ご提案のとおり修正します。
桑名市の子ども・子育て支援について	「ご協力をお願い」と重複しないよう表題を「桑名市の子ども・子育て支援のこれまでとこれから」と変更し、「つきましては、～」を削除 (委員長)	■ご提案のとおり修正します。
ご記入にあたってのお願い	添付文書の説明を付加し、関連のある設問には案内文書を参照する旨を追記。 (事務局)	■添付文書の説明を付加し、関連のある設問には案内文書を参照する旨を追記します。
Q7	選択肢にかかる続柄の説明を下線で強調すべき。 (委員長)	■ご提案のとおり修正します。
Q8	下線を「主に」だけでなく「あて名の～主にしている方」までに引くべき。 (委員長)	■ご提案のとおり修正します。

設問番号等	提案内容	修正等の対応
Q13、Q14 Q17（旧Q16）、 Q18	〈国・必須〉と〈国・任意〉をわけて別の設問にする。 （第1・2グループ）	■ご提案のとおり修正します。
Q23-1、2 （旧Q21-1、2）	数値を記載するのではなく、選択肢方式とし、土・日の利用も同時に聞くと良い。 （第2グループ）	□就学前の子どもの保護者用における国の必須項目に準じて、数値記入方式のままとします。
Q27（旧Q25）	市の子育て支援事業の周知度、利用経験、利用意向に関する設問のB欄は、事業実績で把握できるので不要。また、情報提供等に関するサービスについてはQ35以降のKで詳しく尋ねているので削除しても構わない。 （第2グループ） 回答欄の「はい」と「いいえ」の間隔を広くすべき。 （委員長）	□B欄については、利用者と未利用者の利用意向（C）を把握したいので、このまま残します。 ■情報提供・相談に関する事業の種類旧⑥、⑧は削除します。 ■ご提案のとおり修正します。
Q28（旧Q26）	複数回答にすべき。 （第1グループ）	□過去の調査結果との比較ができなくなってしまうので、このままとします。ただし、設問に「まず、どうしましたか」と修正します。
Q30（旧Q28）	「この1年間」では思い出せない場合があるので、「過去」とした方が良い。 （第1グループ）	□就学前の子どもの保護者用において国の必須項目なので、このままとします。
Q32（旧Q30）	「感じる」ではなく「感じた」とすべき。 （第1グループ）	■ご提案のとおり修正します。
Q38（旧Q36）	「充実させる」という表現では、具体的な内容がわからないので工夫が必要。 （第1グループ）	□過去の調査結果との比較ができなくなってしまうので、このままとします。
Q39（旧Q37）	「ほぼあてはまる」と「あまりあてはまらない」の違いが曖昧で、回答しづらい。直線的に「1-2-3-4」とならべて、その度合いを回答してもらう形式にした方が良い。 （第2グループ）	■ご提案を参考に修正します。

設問番号等	提案内容	修正等の対応
Q40 (旧Q38)	<p>選択肢6「叱りすぎている」では現状を反映していない。「叱り方について不安がある」とすべき。 (第2グループ)</p>	<p>■ご提案のとおり修正します。</p>
(旧Q43)	<p>実現不可能な事項等が含まれるので、設問を削除すべき。 (第1グループ)</p>	<p>■ご提案のとおり削除します。</p>
<p>調査票の配布・回収、調査の周知</p>	<p>回収率を上げるための工夫が必要。私立と公立の間に回収率の差ができてしまうのは避けたい。 (第2グループ)</p>	<p>□私立学校を含め、小学校を通じて調査票の配布・回収ができるよう関係機関と調整してまいります。 □また、本調査の周知に関しては、桑名市広報、桑名市ホームページ、子育て情報メールマガジン、ケーブルテレビ等を通じて行うことを予定しております。</p>

(ニーズ調査票に同封する案内資料)

項目等	提案内容	修正等の対応
放課後子ども教室	回答者にとって、放課後児童クラブとの違いが分かりにくいという懸念がある。(事務局)	■実施場所、実施回数を追記します。
参考①：認定こども園について	説明が不十分で、一日の保育時間など、回答者が誤解する可能性がある。(第1グループ)	<p>■本案内資料は、現在、本市で実施している事業を案内する資料として整理し、「認定こども園」、「小規模な保育」に関する記載は削除します。</p> <p>■別途、本案内資料に加えて、子ども・子育て支援新制度に関して、国が発行しているパンフレットを同封し、市民への新制度周知に努めます。</p> <p>※パンフレット「おしえて！子ども・子育て支援新制度」(内閣府・文部科学省・厚生労働省)を同封します。</p>